
FALCON EYE



News

Tosh Komamura

The President of Komamura Corporation

Address No. 3-2-4 Nihonbashi Ningyo-cho, Chuo-ku, Tokyo 103-0013

Tel +81-(0)3-3808-0118

Cell +81-(0)70-6573-8908

Website www.falconeyecnv.com



ワシントンDCで開催されたAUSA(米国陸軍協会)主催の防衛展示会に出展。

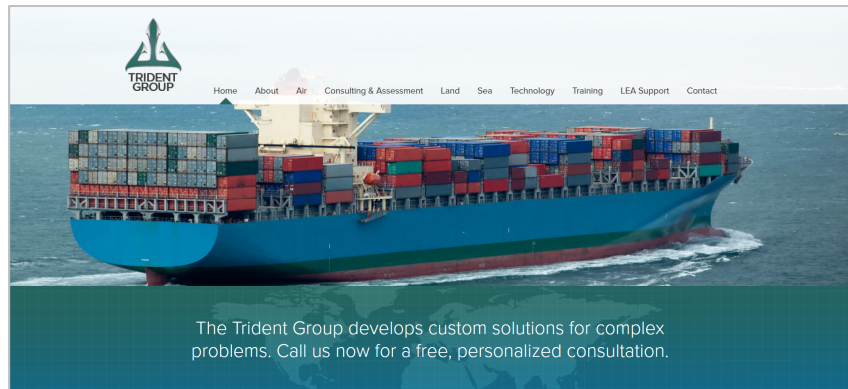
防衛関連の展示会としては米国最大級のAUSA(10月16日～18日)にFALCON EYEブースを出展。会場では、50点の最新防衛装備品展示やテロ対策に関する多数セミナーが行われ、700数社のブースには30000人以上が来場。超高感度で、HDカラー撮影が可能な弊社のKC-2000MKIIは注目の的で、軍関係来場社をはじめ、欧米の競合ナイトビジョン企業やセンサー企業からの絶え間ない訪問を受けた。



米国大型船舶警備会社がKC-2000MKIIの採用を検討。

アメリカの元Navy SEALsが起業した大型船舶警備会社Trident Group America社から、公海上でのテストのためKC-2000MKIIの貸し出し要請を受けた。

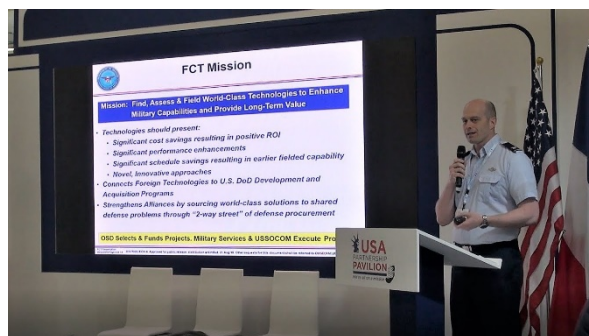
同社は、緊迫するホルムズ海峡やマラッカ海峡をはじめ、インド洋などに出没する海賊船が夜間停泊中の船舶を襲撃する現場や、



自己防衛のために火器を使用した際の証拠映像を、相手に悟られることなく撮影することを目的として、KC-2000MKIIの採用を検討している。

米国防総省FCTチームにKC-2000MKIIを紹介

米国防総省が提起するFCT(Foreign Comparative Testing)とは、米国との同盟国に優れた装備品がある場合、同省の審査に合格すればそのメーカーから直接



購入しようとする国家プロジェクト。そのFCTチームが来日、先月のWashington DCでのAUSA(Association of U.S. Army)での面談に引き続き、弊社のFalcon Teamは11月21日に経済産業

省内の会議室でKC-2000MKIIと現在開発中の新製品のプレゼンテーションを行った。FCTチームの出席者は、アナリスト2名と陸、海、空、海兵からの担当者の計6名。経産省からも製造産業局の2名が参加。日本製で超高感度、しかもカラー撮影可能なナイトビジョンの性能に注目が集まった。

U.A.E.国営企業の発足式典に駒村が出席。

中東で最大級の防衛関連多国籍企業、EDGE社(アラブ首長国連邦)が、11月5日に誕生した。現在の不安定な中東情勢に対処すべく、従来あった25社の官

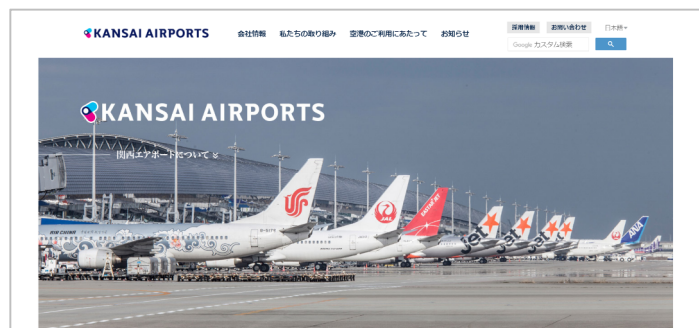


民防衛産業を統合し、皇太子の直轄下に置く。その設立記念のレセプション招待状がEDGE社長から駒村に届いた。レセプションには内外から数千人の賓客、メディアが集い、同社社長の所信表明が世界に配信

された。あわせて、アブダビの日本大使館で翌日開催された自衛隊発足65周年記念のレセプションにも駒村は出席した。

関西空港の施設や周辺警備の装備品にKC-2000MKIIの導入検討始まる。

同空港ではこれまで、夜間警備用として外国製の高級赤外線監視カメラを使用。しかし先日の不審ドローン侵入による空港閉鎖事故を受けて対策を検討した結果、KC-2000MKIIの導入を決定した。テスト運用後、同空港は伊丹空港と神戸空港とも連携を図り、同時期でのKC-2000MKII本格導入を検討する。



UAEで国境警備の装備品としてFalcon Eyeの技術導入検討開始。

11月に発足したUAE(アラブ首長国連邦)の国営防衛関連コングロマリットは、これまでの防衛関連会社を統合し、新たにEDGEを発足。市街地や国境警備のセキュリティを強化するために、システムインテグレーターや投資会社を交えて、システム一新に取りかかっている。その一環として、弊社はFalcon Eyeの超高感度CMOSセンサーを利用した小型監視カメラの開発要請を受けた。現在、アブダビ市に設置されている約2万台の監視カメラをアップグレードすることが目的。



米国の大手防衛装備品メーカーより、米国防総省向け特別仕様のナイトビジョンカメラ共同開発の打診。



10月に開催されたAUSA展に弊社が出展した際、上記の装備品メーカー社長が弊社ブースを何度も訪れ、KC-2000MKIIの性能を高評価。展示会の最終日には開発中のカメラのモックアップを持参し、現在進行中

のプロジェクトの内容紹介とともに、米国防総省向けに開発する、特別仕様ナイトビジョン共同開発の提案を受けた。(※AUSA:Association of U.S. Army)

日本初の防衛展DSEI Japan2019開催。

11月18日～20日、日本初の防衛展DSEIが幕張メッセで開催された。DSEIは、防衛省、経済産業省、外務省が後援する英国の防衛展事業者の主催による展示会。約150社の出展のほとんどが海外メーカー。米国を筆頭に世界の防衛産業の主たるメーカーが出展した。

弊社もKC-2000MKIIを展示し、海外からの来場者、出展者にカラーナイトビジョンをライブ・デモでアピールした。



DESEI Japan2019で、FUJIFILMの新開発SWIRレンズと、FALCON EYEの次期SWIRカメラをプレゼンテーション。

DSEI Japanには、FALCON EYEもブースを出展。開発中のFALCON EYE SWIRカメラと、FUJIFILMが新たに開発したSWIRレンズのプレゼンテーションを行った。



FUJINON SWIR Lens
D60X20-SWIR
2/3inch f=20mm-1200mm



Falcon Eye
SWIR Camera

いまだ赤外やイメージインテンシファイアーのナイトビジョンが世界標準の中で、

FUJINON SWIRレンズとFALCON EYE次期SWIRカメラによる新システム、および、唯一のカラーナイトビジョンであるKC-2000MKIIの先進性は際立っており、多くの来場者の注目を集めた。



市販ビデオカメラの画像



FALCON EYE + FUJINON SWIR Lensで撮影

